

運賃改正に係る議論の整理

1 今までに確認できた事項

(1) 運賃

- ア 東京都からの補助に基づくシルバーパスは使えない。
- イ 150円と180円とでの収支は、ほとんど変わらない。
- ウ 対キロ制は、長距離利用者の負担が大きく増えるため現実的に難しい。

(2) ICカード

- ア 各種サービスのメニューを増やすことができる。
- イ 費用はソフトウェアの書き換えを含め、車両20台分で約1000万円である。

2 運賃設定の根拠をどのように捉えるか

(1) 150円にした場合

- ア 路線バスとは違い、早朝・深夜路線が無い。
- イ バス利用特典サービス（バス特）などのICカード割引が使えない。
- ウ 交通不便地域を回りながら非効率に運行している。

(2) 180円にした場合

- ア 路線バスの初乗り運賃と同じである。

3 交通弱者に対する支援策のポイント

(1) 高齢者

- ア 東京都シルバーパスの対象者は、70歳以上としている。
- イ 高齢者の医療の確保に関する法律では、65～74歳までを前期高齢者、75歳以上を後期高齢者としている。
- ウ 確認方法としては、東京都発行のシルバーパス、市独自発行の証明書、身分証明書などが考えられる。
- エ 無料にした場合は財政負担が大きいため、100円（現行維持）又は半額が適当ではないか。

(2) 障害者

- ア 京王バスでは、各都道府県発行の身体障害者手帳、バス運賃割引証（民営バス乗車割引証）、療育手帳（愛の手帳）又は東京都発行の精神障害者手帳を呈示すれば5割引としている。また、バス運賃割引証に（介）（マルカイ）の表示があれば介護人1人についても5割引としている。
- イ 他市コミュニティバスでは、半額又は100円にしているケースが多い。

(2) 小人

ア 京王バスでは、小学生以下の利用者に対して「ちびっこ50円」というサービスがある。土日祝日及び小学校の長期休暇期間（春休み、ゴールデンウィーク、夏休み、冬休み期間）については運賃50円としている。確認方法は申告による。

イ 他市コミュニティバスでは、半額又は100円にしているケースが多い。